

佐賀空港の自衛隊使用要請に関する校区説明会 九州防衛局長挨拶

開催日 令和5年1月29日（日）

場 所 佐賀市立川副中学校屋内運動場

○伊藤局長

皆様、改めまして、こんにちは。

九州防衛局長の伊藤でございます。

本当にお寒い中、日曜日、多数足を運んでいただきまして、本当にありがたく思っております。本日は一生懸命説明したいと思っております。

佐賀空港への陸上自衛隊のオスプレイ配備計画に関しましては、平成26年、もう8年前に佐賀県、佐賀市など、地元の関係の自治体、関係者の皆様と協議を重ねてまいりました。その過程で、平成30年には、佐賀空港の管理者である佐賀県より受入れ表明をいただきました。一方で、佐賀県と有明海漁協との間で結ばれました公害防止協定におきまして、自衛隊と共用しないという旨の取決めがありましたので、その内容の見直しについてお願いをしてまいったところでございます。

そして、昨年11月1日、有明海漁協において、公害防止協定の見直しという重い決断をしていただきました。その後、昨年12月25日から27日、3日間掛けまして、佐賀県・防衛省主催、佐賀市協力のもと、佐賀県民及び佐賀県内で勤務されている方を対象に、県民説明会を実施させていただきました。

そして、本日、川副町の自治会からの御要望なども踏まえまして、佐賀市とも調整の上、まさに御地元である川副町にお住まいの方を対象とした校区説明会を開催させていただくことになりました。平成26年度、平成28年度の開催以来、久しぶりの開催ということでございます。

我が国を取り巻く安全保障環境、テレビや新聞でも取上げられておりますけれども、中国の軍事活動の拡大・活発化など、一層日本を取り巻く状況は厳しさを増しております。南西地域の島嶼部の防衛力の強化は喫緊の課題でございます。島しょ防衛、南西の島々を守るためには、佐世保に陸上自衛隊の水陸機動団という島を守る専門の部隊がございます。その部隊がいち早く現場に駆けつけて、侵略してくる国がそういう島に上陸して事態に対応するというのが任務を遂行する上での鍵となります。その際、極めて重要な役割を果たしますのが、水陸起動団の輸送を担うオスプレイとなります。このため、水陸起動団から近い佐賀空港に早期にオスプレイなどのヘリコプターを配備する必要があるまして、佐賀県の皆様にぜひとも御理解と御協力を賜りたいと思っております。特に地元の方々の御理解というのは、非常に必要だと思っております。

本日は皆様にしっかりと説明をして、皆さんに私たちの考えを伝えていきまして、また、御質問等に応える、御意見を承ればと思っております。よろしくお願い申し上げます。